

“自分を大切に”が幸せのカギ

～「性の商品化」NO!に必要な**3**つのこと～

その1 きちんと知ろう、自分のからだや性のこと

「性」というと性行為や下半身をイメージして、恥ずかしがったり、ごまかしたりと、自分自身のからだや性のあり様を真剣に考えてこなかったのではないでしょうか。

その結果、外見を気にして無理なダイエットでからだのリズムをくずしたり、相手の誘いが断れないまま望まない妊娠をするなど、情報にまどわされ、他人の意見に合わせすぎて自分の個性をなくしたり、自分を見失ったりすることもあります。

科学的に正しい学習を通して、「自分にとっての性とは?」「自分らしさとは?」と問い直し、自分のからだや性について自己管理する力、自らの性行動を選択し決定する力をつけていきましょう。自分自身の性のあり様を自分で決める力がつけば、おのずと相手の自己決定の権利も認められるようになるはずですよ。

その2 もっと話そう、おたがいの気持ち。伝えないと分かり合えないよ

「性の商品化」は、男性が女性の人格を尊重しないことが最大の要因ですが、女性と男性のコミュニケーション不足が、それを助長している面もあるのでないでしょうか。

たがいの性を尊重し、安心できる関係を築くために、女性も男性も、イヤなことはイヤと言うことも含めて自分の気持ちを言葉にして伝える力や、相手の気持ちを想像し、確かめる力をつけていきましょう。



言葉のキャッチボールで自分の気持ちを伝えてみよう

いろいろな設定で男女の会話を作ってみましょう。
「話ができよかった」と終わるように考えてみてください。

- 女性 (or 男性) 「ねえ、あの女性の水着のポスターいやなんだけど…。」
- 男性 (or 女性) 「 」
- 女性 (or 男性) 「 」
- 男性 (or 女性) 「 」
- 女性 (or 男性) 「 」
- 男性 (or 女性) 「 」
- 女性 (or 男性) 「 」
- 男性 (or 女性) 「 」
- 女性 (or 男性) 「 」
- 男性 (or 女性) 「 」
- 女性 (or 男性) 「話ができよかった。」

「季刊セクシュアリティNo20」より一部引用